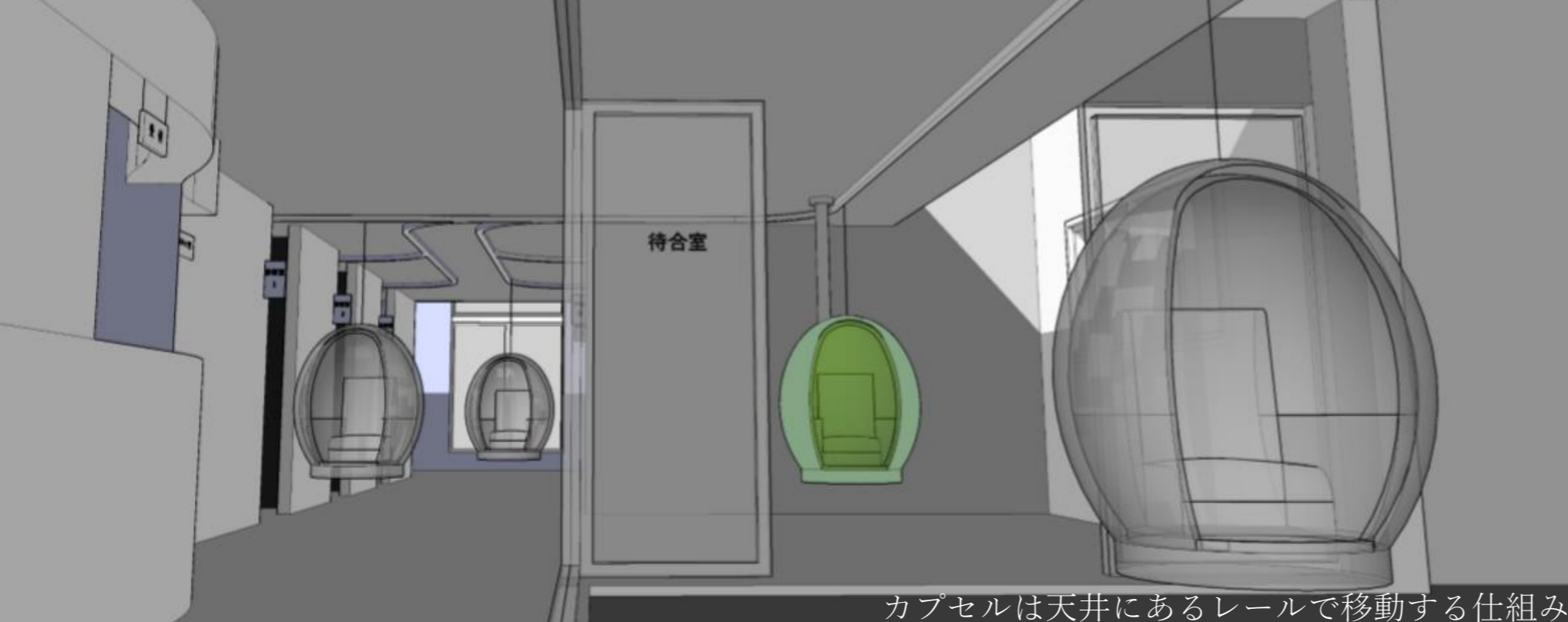


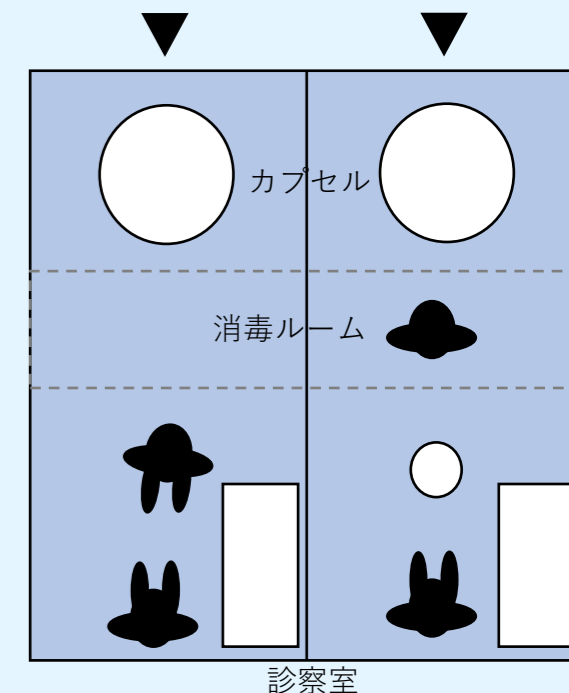
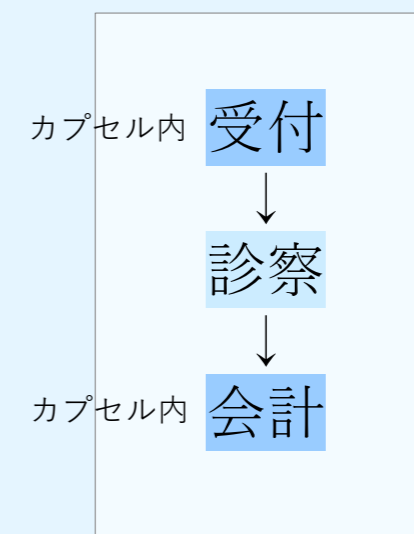
カプセルで過ごす待ち時間

体調不良で訪れる病院での待ち時間を長く感じる人は少なくないだろう。また、現在流行している新型コロナウイルスの影響で、待合室に人が集まり、密になることが問題視されている。そこで、感染対策、さらに待合室で快適な時間を過ごせるように、私たちは移動式カプセルによる外来診察システムを考えた。



カプセルは天井にあるレールで移動する仕組み

○診察の流れ



01. 来院したら入口にあるカプセルに入る。
02. タブレットで受付をし、診察までカプセル内で待つ。
03. 診察時間になったらカプセルが診察室まで移動する。
04. 診察室でカプセルから降りる。
05. ミストタイプの消毒をし、診察を受ける。
(追加検査がある場合はカプセルで移動する。)
06. 終わったら再びカプセルに入り、タブレットで会計をする。

○カプセルの仕組み

照明・音

目に優しく、好みの明るさに調節可能。
防音空間になっており、好きな音楽を好きな音量でかけられる。

窓

マジックミラーを使用。普通のガラスがスイッチ一つで中が見えなくなるよう切り換えられる。

タブレット

受付から会計、問診票などができる仕組み。
また、動画が見れたり、食べ物を注文したり、トイレや売店など、移動したい時にカプセルの操作ができる。

空調

カプセルの下の部分から吹き出し口を設置し、カプセル内の空気を清常に保つ。これ一つで冷房暖房が使える、温度調節が可能。

ダクト

カプセル内の空気を排出する。

センサー

カプセルの中に入ったときに患者の重症度が測れる。
重症度によってルートが変わり、その状況に適した治療を受けられる。
AIセンサーによって軽症者はカプセルの中で診療ができる。

ソファ

自然と利用者の体にフィットする仕組み。
赤外線センサーで心拍数や体温を測れる機能付き。

ワイヤレス充電

病院内の床下に専用パッドを埋め込み、電気を送る。

これは外来患者用のカプセルだが、サイズを変更することで入院患者用のカプセルとしても利用できる。さらに、応用でショッピングモールなどの商業施設や車などの交通手段としても利用出来たらいいと考える。